令和2年第7回安芸市農業委員会定例会議事録

1. 開催日時 令和2年7月29日(水)午後1時30分から4時10分

2. 開催場所 安芸市役所 二階 会議室

3. 出席農業委員(13人)

会長	1番	内川 昭二
会長職務代理者	2番	野町 亜理
会長職務代理者	3番	大久保暢夫
	4番	川島 一義
	6番	野村 勉
	7番	樋口 なぎさ
	8番	西岡 秀輝
	9番	有澤 節子
	10番	福本 隆憲
	11番	西岡 大作
	12番	山内 芳幸
	13番	栗山 浩和
	14番	小松 豊喜

4. 欠席農業委員(1人)

5番 千光士伊勢男

5. 出席農地利用最適化推進委員(8人)

安芸町	渡辺	禎宏
伊尾木	黒岩	榮之
川北	中平	秀一
東川	有澤	光喜
土居	入交	大輔
畑山	小松	光正
穴内	長野	榮徳
赤野	大野	實

6. 議事日程

報告第1号 農地法第3条の3第1項届出について

議案第2号 農地法第3条許可申請について

報告第3号 農地法第3条許可使用貸借期間変更届出について

報告第4号 使用貸借終了返還通知について

議案第5号 農地法第4条第1項許可申請について

報告第 6 号 農地法第 4 条届出報告について
議案第 7 号 農地法第 5 条第 1 項許可申請について
報告第 8 号 農地法第 18 条第 6 項解約通知報告について
議案第 9 号 農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定について
議案第 10 号 農地の転用事実に関する照会について
報告第 11 号 安芸市防災協力農地法の登録について
その他

7. 農業委員会事務局職員

事務局長 大坪 浩久
事務局次長兼振興係長 長野 顕文
事務局農地係長 岡田 元一

8. 会議の概要

事務局長 皆様、こんにちは。

私は、農業委員会事務局長の大坪と申します。どうかよろしく願いします。

議事に入ります前に、先日の臨時会におきまして選出されました農地利用最適化推進委員の皆様にもご出席していただいております。農業委員会等に関する法律第 17 条第 1 項に基づきまして農業委員会から委嘱させていただきます。

それでは、推進委員の皆様にも、内川会長より委嘱状を交付いたします。渡辺禎宏推進委員より順番に委嘱状を交付いたします。会長が参りますので、自席でお待ちくださるようお願いいたします。

(会長から 8 人に委嘱状交付)

事務局長 本日は、推進委員の皆様が出席しての最初の会ですので、自己紹介を順次お願いいたします。まずは事務局職員からさせていただきます。

(事務局職員の自己紹介)

事務局長 続きまして、委員の方々の自己紹介をお願いいたします。内川会長から時計回りに順次お願いします。

(各委員の自己紹介)

議長 これより本日の会議を開きます。議事に入る前に事務局が諸般の報告をいたします。

事務局長 本日の出席状況を報告いたします。委員定数 14 人、出席者数 13 人です。欠席委員は、5 番千光士伊勢男委員で、所用のため欠席との連絡がございました。

次に事務の概要報告をいたします。

7 月 28 日に、高知県農業会議常設審議会が開催され、岡田係長が出席しております。

以上で、事務の概要報告を終わります。

事務局（長野） 事務局から議事に入る前にご説明させていただきます。

本日は、農地利用最適化推進委員の皆さんにも定例会に出席していただいております。農地利用最適化推進委員の皆さんには、定例会への出席義務はございませんが、先ほど行いましたように委嘱状の交付や定例会終了後に研修会を開催することから、定例会に出席していただいております。8月以降の定例会につきましては、開催1週間前に議案書を自宅にお送りいたしますので、必要に応じてご出席いただきたいと思っております。

来月から、農業経営基盤強化促進法に係る農地利用集積計画による利用権設定等については、各担当農地最適化推進委員さんに現地の確認報告を行うようになりますので、担当推進委員は必ず出席をお願いします。欠席をする場合は、報告を農業委員にお願いする必要がありますので、事前に事務局までお知らせください。

推進委員の皆さんも報告案件や議案に対して、意見、質問等がある場合は、挙手し、議長の許可を受けて発言していただいております。ただ、議決権はございませんので、採決には参加できませんので、ご了承ください。

議長 本定例会の日程は、本日1日限りといたしたいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長 異議なしと認めます。よって本定例会の日程は本日1日と決定いたします。

会議規則第21条第2項の規定により、議事録署名委員に野町重理委員及び大久保暢夫委員を指名いたします。

それでは、報告第1号、農地法第3条の3第1項届出について、事務局が説明をいたします。

事務局（長野） 議案書1ページになります。

報告第1号、農地法第3条の3第1項届出についてですが、今回は7件届出が出ています。相続等で農地の権利を取得した者は、農地が所在する市町村の農業委員会に届出しなければならなくなっているものです。

届出番号1番です。権利取得者は議案書に記載のとおりです。届出地は、記載のとおり穴内甲、赤野甲の14筆で、面積は全部で5,546㎡です。

相続により所有権が移転となったもので、あっせんの希望はございません。

届出番号2番です。権利取得者は議案書に記載のとおりです。届出地は、記載のとおり矢ノ丸一丁目、矢ノ丸三丁目、黒鳥、川北甲の7筆で、面積は全部で2,785㎡です。

相続により所有権が移転となったもので、あっせんの希望はございません。

届出番号3番です。権利取得者は議案書に記載のとおりです。届出地は、記載のとおり栃ノ木の1筆で、面積は727㎡です。

相続により所有権が移転となったもので、あっせんの希望はございません。

届出番号4番です。権利取得者は議案書に記載のとおりです。届出地は、記載のとおり伊尾木の1筆で、面積は189㎡です。

相続により所有権が移転となったもので、あっせんの希望はございません。

届出番号5番です。権利取得者は議案書に記載のとおりです。届出地は、記載のとおり井ノ口乙の1筆で、面積は22㎡です。

相続により所有権が移転となったもので、あっせんの希望はございません。

届出番号6番です。権利取得者は議案書に記載のとおりです。届出地は、記載のとおり日ノ出町の1筆で、面積は76㎡です。

相続により所有権が移転となったもので、あっせんの希望はございません。

届出番号7番です。権利取得者は議案書に記載のとおりです。届出地は、記載のとおり赤野甲の2筆で、面積は全部で766㎡です。

時効取得及び相続により所有権が移転となったもので、法務局より通知がありました。

以上でございます。

議長 ただいまの報告第1号について、質問、意見等がございましたらお願いいたします。

(発言等なし)

議長 質問、意見等がないようでしたら、これは、報告案件ですので、了解していただきたいと思っております。

続きまして、議案第2号、農地法第3条許可申請についてを議題とし、事務局が説明いたします。

事務局(長野) 議案第2号、農地法第3条許可申請について説明いたします。

議案書は5ページです。今回は6件申請が提出されています。

申請番号1番です。譲渡人、譲受人は議案書に記載のとおりで、申請地も記載のとおり畑山甲、畑山丙の6筆で、地目は田で、面積は全部で1,233㎡です。

売買による所有権移転の申請でユズが作付されております。所在地につきましては、7ページの左に地図がございます。

畑山温泉憩いの家より上で、畑山川の左岸の小川名集落の北の方にある農地です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

農地法第3条第2項各号の判断につきましては、事前に送付しておりますA3サイズの農地法第3条の調査書に記載してあるとおりです。

以上の調査書に記載してあるとおり、本申請については、農地法第3条第2項各号の要件に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。

これらのことから、この申請につきましては農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。なお、現地につきましては7月16日に小松茂雄前委員、小松光正委員に確認していただきました。

次に申請番号2番です。譲渡人、譲受人は議案書に記載のとおりで、申請地も記載のとおり栃ノ木の4筆で、地目は田で、面積は全部で1,327㎡です。

売買による所有権移転の申請でユズが作付されております。所在地につきましては、7ページの右に地図がございます。

栃ノ木東地集落の北にある農地と菊水酒造栃ノ木工場の東にある安芸川の北岸にある農地です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

農地法第3条第2項各号の判断につきましては、事前に送付しておりますA3サイズの農地法第3条の調査書に記載してあるとおりです。

以上の調査書に記載してあるとおり、本申請については、農地法第3条第2項各号の要件に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。

これらのことから、この申請につきましては農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。なお、現地につきましては7月16日に小松茂雄前委員、小松光正委員に確認していただきました。

次に申請番号3番です。譲渡人、譲受人は議案書に記載のとおりで、申請地も記載のとおり井ノ口乙の5筆で、地目は田と畑で、面積は全部で1,226㎡です。

売買による所有権移転の申請でユズが作付されております。所在地につきましては、8ページの左に地図がございます。

井ノ口郵便局の北東にある井ノ口松原集落に隣接した農地です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

農地法第3条第2項各号の判断につきましては、事前に送付しておりますA3サイズの農地法第3条の調査書に記載してあるとおりです。

以上の調査書に記載してあるとおり、本申請については、農地法第3条第2項各号の要件に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。

これらのことから、この申請につきましては農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えま

す。なお、現地につきましては7月14日に大久保暢夫委員、西岡大作委員、小松昌平委員に確認していただきました。

次に申請番号4番です。譲渡人、譲受人は議案書に記載のとおりで、申請地も記載のとおり伊尾木の1筆で、地目は田で、面積は2,321㎡です。

売買による所有権移転の申請でナスを作付しております。所在地につきましては、8ページの右に地図がございます。

伊尾木岡集落の北東にある県道大久保伊尾木線沿いにある農地です。現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

農地法第3条第2項各号の判断につきましては、事前に送付しておりますA3サイズの農地法第3条の調査書に記載してあるとおりです。

以上の調査書に記載してあるとおり、本申請については、農地法第3条第2項各号の要件に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。

これらのことから、この申請につきましては農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。なお、現地につきましては7月15日に内川会長、黒岩榮之委員に確認していただきました。

次に申請番号5番です。譲渡人、譲受人は議案書に記載のとおりで、申請地も記載のとおり穴内甲の1筆で、地目は田で、面積は390㎡です。

売買による所有権移転の申請で野菜を作付する予定をしております。所在地につきましては、9ページに地図がございます。

穴内橋の北西にある台地上の農地です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

農地法第3条第2項各号の判断につきましては、事前に送付しておりますA3サイズの農地法第3条の調査書に記載してあるとおりです。

以上の調査書に記載してあるとおり、本申請については、農地法第3条第2項各号の要件に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。

これらのことから、この申請につきましては農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。なお、現地につきましては7月13日に竹内忠吉前委員、長野榮徳委員に確認していただきました。

次に申請番号6番です。譲渡人、譲受人は議案書に記載のとおりで、申請地も記載のとおり穴内甲の1筆で、地目は田で、面積は830㎡です。

売買による所有権移転の申請で野菜を作付する予定をしております。所在地につきましては、9ページに地図がございます。

申請番号5の北西にあり、穴内六丁集落に隣接している農地です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

農地法第3条第2項各号の判断につきましては、事前に送付してお

りますA3サイズの農地法第3条の調査書に記載してあるとおりです。

以上の調査書に記載してあるとおり、本申請については、農地法第3条第2項各号の要件に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。

これらのことから、この申請につきましては農地法第3条第2項の各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。なお、現地につきましては7月13日に竹内忠吉前委員、長野榮徳委員に確認していただきました。

以上で説明を終わります。

議長 現地確認委員の報告を申請番号4番は私がします。申請番号1番、2番は小松光正委員、申請番号3番は、大久保暢夫委員、西岡大作委員、申請番号5番、6番は長野榮徳委員、お願いします。

小松光正推進委員 7月16日に長野君と小松茂雄前委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

3番大久保委員 7月14日に岡田君と西岡大作委員と小松昌平委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

11番西岡委員 7月14日に岡田君と大久保暢夫委員と小松昌平委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

1番内川委員 7月15日に長野君と黒岩榮之委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

長野推進委員 7月13日に岡田君と竹内忠吉前委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

議長 それでは、審議をお願いします。

(発言等なし)

議長 別になければ、採決いたします。議案第2号、農地法第3条許可申請については原案どおり認め、許可することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

議長 はい、全員賛成です。よって議案第2号、農地法第3条許可申請は、原案どおり認め、許可することに決定いたしました。

続きまして、報告第3号、農地法第3条許可使用貸借期間変更届出について、事務局が説明いたします。

事務局(長野) 報告第3号農地法第3条許可使用貸借期間変更届出について説明いたします。

議案書は10ページです。

貸人、借人は議案書に記載のとおり、申請地も記載のとおりで井ノ口乙の30筆です。地目は田と畑で、面積は全部で11,385.3㎡となっております。

当初は平成12年7月30日から令和2年7月29日まで20年間の使用貸借権の設定がされておりましたが、平成12年7月30日から令

和15年7月29日まで33年間の使用貸借期間に変更する契約書の写が提出されたものです。なお、他の条件に変更はありません。

以上でございます。

議長 ただいまの報告第3号について、質問、意見等がございましたらお願いします。

(発言等なし)

議長 質問、意見等がないようでしたら、これは、報告案件ですので、了解していただきたいと思います。

続きまして、報告第4号、使用貸借終了農地返還通知について、事務局が説明いたします。

事務局（長野） 報告第4号、使用貸借終了農地返還通知について説明いたします。議案書は12ページです。

貸人、借人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおりで井ノ口甲の1筆です。地目は畑で、面積は222.57㎡となっております。

当初は平成24年6月1日から令和14年5月31日まで20年間の利用権の設定がされておりましたが、農地転用をするため、双方合意による終了返還の通知が提出されたものです。

以上でございます。

議長 ただいまの報告第4号について、質問、意見等がございましたらお願いします。

(質問、意見なし)

議長 質問、意見等がないようでしたら、これは報告案件ですので、了解していただきたいと思います。

続きまして、議案第5号、農地法第4条第1項許可申請についてを議題とし、事務局が説明をいたします。

事務局（岡田） 議案第5号の4条申請について説明いたします。今回は2件申請が提出されております。

議案書は13ページをご覧ください。

まず、申請番号1番です。申請人、申請地は議案書に記載のとおりで、地目は田、面積は213㎡となっております。転用の目的ですが、資材置場及び倉庫の整備となっております。

現地調査につきましては7月16日に栗山浩和委員、大野實委員にさせていただいております。場所は議案書の14ページに地図を掲載しています。赤野の東赤野大橋の東にある農免道路沿いの土地です。現地の写真もお配りしますので、ご確認ください。

次に農地転用許可基準についてですが、別紙のA3サイズの農地法第4条調査書でご説明いたします。

1の立地基準、農地性の判断ですが、該当区分は第2種、その他の農地であると判断しています。理由は、甲種、第1種、第2種（オに規定するものに限る）、第3種のいずれの要件にも該当しない農地で

あるためです。

続きまして2の一般基準についてご説明いたします。

検討事項①の理由についてご説明いたします。農業用資材の保管のための倉庫及び資材置場が必要であり当該農地が最も農作業に効率がよいことから選定したというものです。他に適した用地が無いことから当該申請地を申請することがやむを得ないと認められます。

資力や信用につきましては、預貯金通帳を確認し、資金面で問題はないと判断しました。

遅滞なく転用が行われるかにつきましては、現地調査、申請書類確認の結果、転用は確実に行われると判断いたしました。

計画面積の妥当性につきましては、現地を確認した結果、農業用倉庫及び資材置場として転用面積が妥当であると判断いたしました。

周辺農地への支障につきましてご説明します。当該申請地の東側は道路及び農地であります。農地の所有者からは隣地同意書が提出されています。西側も農地であります。隣地同意書が提出されています。北側は境内地及び道路、農地であり、農地の所有者からは隣地同意書が提出されています。南側は隣地同意書の提出された農地であります。また、排水を生じる施設の設置はなく、雨水については自然浸透により処理する計画であります。これらのことから転用事業の実施による周辺農地への影響はないと判断いたします。

特定土地改良事業等関係につきましては、土地改良事業の施行地ではありません。

申請地に係る土地と都市計画との関係につきましては、都市計画区域外となっています。

申請地に係る土地と農業振興地域整備計画との関係につきましては、農業振興地域内ですが、農用地区域外となっています。

総合意見といたしまして、現地調査、申請書類の確認の結果、転用計画は許可相当であると判断いたします。

次に、申請番号2番です。申請人、申請地は議案書に記載のとおりで、地目は畑、面積は222.57㎡となっています。転用の目的ですが、自己住宅及び倉庫の建築となっています。既に建物等の建築は済んでおり、農地法上の手続きをすることを知らなかったということで始末書が添付されています。

場所は議案書の15ページに地図を掲載しています。井ノ口の高台寺集落内にある土地です。現地の写真もお配りしますので、ご確認ください。なお、現地確認は7月14日に大久保暢夫委員、西岡大作委員、小松昌平委員にさせていただいております。

次に農地転用許可基準についてですが、別紙のA3サイズの農地法第4条調査書でご説明いたします。

1の立地基準、農地性の判断ですが、該当区分は第2種、その他の

農地であると判断しています。理由は、甲種、第1種、第2種（オに規定するものに限る）、第3種のいずれの要件にも該当しない農地であるためです。

続きまして2の一般基準についてご説明いたします。

検討事項①の理由についてご説明いたします。大正3年、昭和40年、平成4年に自己住宅及び倉庫を建築して現在に至る。他に適した用地が無いことから当該申請地を申請することがやむを得ないと認められます。

資力や信用、遅滞なく転用が行われるかにつきましては、既に転用が完了しているので、適当と判断いたしました。

計画面積の妥当性につきましては、現地を確認した結果、自己住宅及び倉庫として転用面積が妥当であると判断いたしました。

周辺農地への支障につきましてご説明します。当該申請地の東側は申請者所有の農地及び農業用施設用地であります。西側は宅地及び農地ですが、農地の所有者からは隣地同意書が提出されています。南側は申請者所有の農地であり、北側は宅地であります。生活雑排水は汲み取り及び北側水路への排水、雨水は地中浸透及び北側水路への排水により処理する計画であります。これらのことから転用事業の実施による周辺農地への影響はないと判断いたします。

特定土地改良事業等関係につきましては、土地改良事業の施行地ではありません。

申請地に係る土地と都市計画との関係につきましては、都市計画区域外となっています。

申請地に係る土地と農業振興地域整備計画との関係につきましては、農業振興地域内ですが、農用地区域外となっています。

総合意見といたしまして、現地調査、申請書類の確認の結果、転用計画は許可相当であると判断いたします。

以上でございます。

議長 現地確認委員の報告を、申請番号1番は栗山浩和委員、申請番号2番は大久保暢夫委員、面岡大作委員、お願いします。

1 3番栗山委員 7月16日に岡田君と大野実委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

3番大久保委員 7月14日に岡田君と面岡大作委員と小松昌平委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

1 1番面岡委員 7月14日に岡田君と大久保暢夫委員と小松昌平委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

議長 それでは、審議をお願いします。

(発言等なし)

議長 別になければ、採決いたします。議案第5号、農地法第4条第1項許可申請については原案どおり認め、進達することに賛成の方は挙手

をお願いします。

(挙手全員)

議長 はい、全員賛成です。よって、議案第5号、農地法第4条第1項許可申請については原案どおり認め、進達することに決定いたしました。

続きまして、報告6号、農地法第4条届出報告についてを議題とし、事務局が説明いたします。

事務局(岡田) 報告第6号、農法第4条届出報告について説明いたします。議案書は16ページをご覧ください。

農地を転用する場合は、転用の許可を受ける必要がありますが、自分の農地に200㎡以内の農業用施設を建てる場合は届け出を行うだけでよく、今回は2件届出がありました。

届出番号1番です。申請者、申請地は議案に記載のとおりとなっています。現地の写真をお配りいたしますので、ご確認ください。所在地につきましては17ページに地図がございします。穴内の六丁集落にある農地です。農業用の倉庫を建てる届出となっております。なお、7月13日に竹内忠吉前委員、長野榮徳委員に現地確認していただきました。周辺の農地からは同意書が提出されており、排水は生じず、雨水は北東にある水路に流す予定であります。日照等の影響もなく特に問題が無いと考えております。

届出番号2番です。申請者、申請地は議案に記載のとおりとなっています。現地の写真をお配りいたしますので、ご確認ください。所在地につきましては18ページに地図がございします。赤野のレストラン矢流から市道を北に上がっていった農地です。農業用の倉庫を建てる届出となっております。なお、7月16日に栗山浩和委員、大野實委員に現地確認していただきました。周辺の農地からは同意書が提出されており、トイレは汲み取りで、排水は東側の側溝に流します。

議長 ただいまの報告第6号について、質問、意見等がございましたらお願いします。

(質問、意見なし)

議長 質問、意見等がないようでしたら、これは報告案件ですので、了解していただきたいと思ひます。

続きまして、議案第7号、農地法第5条第1項許可申請についてを議題とし、事務局が説明をいたします。

事務局(岡田) 議案第7号の5条申請について説明いたします。今回は2件申請が提出されております。

議案書は19ページをご覧ください。まず申請番号1番です。

譲渡人、譲受人、申請地は議案書に記載のとおりで、黒鳥で、地目は畑、面積は全部で174.61㎡で、転用目的は自己住宅の建築です。

場所については20ページに地図を掲載しています。場所は黒鳥公民館の北東にある農地となっております。現地の写真もお配りします

ので、ご確認ください。現地確認につきましては7月14日に大久保暢夫委員、面岡大作委員、小松昌平委員にいただきました。

次に農地転用許可基準についてですが、別紙のA3サイズの農地法第5条調査書でご説明いたします。

1の立地基準、農地性の判断ですが、該当区分は第1種農地であると判断しています。理由は、10ha以上の集団農地であるためです。

第1種農地につきましては原則転用不許可であります。近隣の集落に接続している農地に個人住宅を建てるため、農地法施行規則第33条第1項第4号の例外規定が適用できると考えております。

続きまして2の一般基準についてご説明いたします。

検討事項①の理由についてですが、子どもの成長とともに現在の住まいが手狭になり新しく自己住宅を建築したいと考えていたことに加え、両親の老後の世話も考えて父親所有の当該地を選定したというものです。他に適した用地が無いことから当該申請地を申請することがやむを得ないと認められます。

資力や信用につきましては、預貯金通帳、融資見込証明書を確認し、問題はないと判断いたしました。

遅滞なく転用が行われるかにつきましては、現地調査、申請書類確認の結果、転用は確実にされると判断いたしました。

計画面積の妥当性につきましては、土地利用計画図が提出されていて、自己住宅建築用地として転用面積が妥当であると判断いたしました。

周辺農地への支障につきましてご説明します。当該申請地の東側は農地であります。隣地同意書が提出されています。西側は宅地であり、南側は市道を挟んで宅地であります。北側は貸人所有の農地であります。生活雑排水は浄化槽で処理した後に南側市道側溝に排水し、雨水は地中浸透及び南側市道側溝への排水により処理する計画であります。これらのことから転用事業の実施による周辺農地への影響はないと判断します。

特定土地改良事業等関係につきましては、土地改良事業の施行地ではありません。

申請地に係る土地と都市計画との関係につきましては、都市計画区域外となっております。

申請地に係る土地と農業振興地域整備計画との関係につきましては、農業振興地域内ですが、農用地区域外となっております。

総合意見といたしまして、現地調査、申請書類の確認の結果、転用計画は許可相当であると判断いたします。

次に申請番号2番です。

譲渡人、譲受人、申請地は議案書に記載のとおりで、穴内甲で、地目は田、面積は499㎡で、転用目的は自己住宅、物置の建築です。

場所は21ページに地図を掲載しています。場所は穴内の六丁集落の農地となっております。現地確認については7月13日に竹内忠吉前委員、長野榮徳委員にさせていただいております。現地の写真もお配りしますので、ご確認ください。

次に農地転用許可基準についてですが、別紙のA3サイズの農地法第5条調査書でご説明いたします。

1の立地基準、農地性の判断ですが、該当区分は第1種農地であると判断しています。理由は、10ha以上の集団農地であるためです。

第1種農地につきましては原則転用不許可であります。近隣の集落に接続している農地に個人住宅を建てるため、農地法施行規則第33条第1項第4号の例外規定が適用できると考えております。

続きまして2の一般基準についてご説明いたします。

検討事項①の理由についてですが、高速自動車道南国安芸道路の用地買収により自己住宅の移転が必要になったというものです。他に適した用地が無いことから、当該申請地を申請することがやむを得ないと認められます。

資力や信用につきましては、用地買収に関する補償の契約書を確認し、資金面で問題はないと判断いたしました。

遅滞なく転用が行われるかにつきましては、現地調査、申請書類確認の結果、転用は確実にされると判断いたしました。

計画面積の妥当性につきましては、土地利用計画図が提出されていて、自己住宅建築用地として転用面積が妥当であると判断いたしました。

周辺農地への支障につきましてご説明します。当該申請地の東側は農地ですが、隣地同意書が提出されています。西側は宅地及び隣地同意書が提出された農地があります。南側は農地だが隣地同意書が提出されています。北側は譲渡人所有の農地があります。生活雑排水は浄化槽で処理した後に南側市道側溝に排水し、雨水も南側市道側溝への排水により処理する計画であります。なお、穴内六丁土地改良区、西地土地改良区からは当該転用計画について異議なしとの意見書が提出されています。これらのことから転用事業の実施による周辺農地への影響はないと判断します。

特定土地改良事業等関係につきましては、土地改良事業の施行地ではありません。

申請地に係る土地と都市計画との関係につきましては、都市計画区域外となっております。

申請地に係る土地と農業振興地域整備計画との関係につきましては、農業振興地域内ですが、農用地区域外となっております。

総合意見といたしまして、現地調査、申請書類の確認の結果、転用計画は許可相当であると判断いたします。

以上でございます。

議長 現地確認委員の報告を、申請番号1番は大久保暢夫委員、面岡大作委員、申請番号2番は長野榮徳委員、お願いします。

3番大久保委員 7月14日に岡田君と面岡大作委員と小松昌平委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

11番面岡委員 7月14日に岡田君と大久保暢夫委員と小松昌平委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

長野推進委員 7月13日に岡田君と竹内忠吉前委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

議長 それでは、審議をお願いします。

(発言等なし)

議長 別になければ、採決いたします。議案第7号、農地法第5条第1項許可申請については原案どおり認め、進達することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手多数)

議長 はい、賛成多数です。よって、議案第7号、農地法第5条第1項許可申請については原案どおり認め、進達することに決定いたしました。

続きまして、報告第8号、農地法第18条第6項解約通知報告について、事務局が説明いたします。

事務局(長野) 報告第8号、農地法第18条第6項解約通知報告について説明いたします。議案書は22ページです。今回は2件出ております。

届出番号1番です。賃貸人、賃借人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおりで赤野甲の3筆です。地目は田で、面積は全部で2,211㎡となっております。

当初は令和元年6月3日から令和4年6月2日まで3年間の利用権の設定がされておりましたが、別の農家が耕作することによって双方合意による解約の通知が提出されたものです。

届出番号2番です。賃貸人、賃借人は議案書に記載どおり、申請地も記載どおりで赤野乙の3筆です。地目は田と畑で、面積は全部で897㎡となっております。

当初は平成29年8月1日から令和4年7月31日まで5年間の利用権の設定がされておりましたが、家族が耕作することによって双方合意による解約の通知が提出されたものです。

以上でございます。

議長 ただいまの報告第8号について、質問、意見等がございましたらお願いします。

(質問、意見なし)

議長 質問、意見等がないようでしたら、これは報告案件ですので、了解していただきたいと思えます。

続きまして、議案第9号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積

計画決定、申請番号1番についてを議題とし、事務局が説明をいたします。

本申請については、〇〇〇〇委員が当事者でありますので、農業委員会等に関する法律第31条第1項の規定により一時退席願います

(〇〇〇〇委員退席)

事務局(長野) 議案第9号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定、申請番号1番について説明いたします。議案書は23ページになります。

貸付人、借受人は議案書に記載どおりで、申請地も記載どおり川北甲の農地1筆で、地目は田で、面積は1,500㎡です。ナスを作付する予定をしており、15年間の賃貸借契約をし、賃借料は10a当たり2等米7俵代の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、26ページの左に地図がございます。川北の高知県農協あき東支所の西の方にある市道安芸伊尾木線沿いに位置する農地です。

農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の判断につきましては、事前にお配りしていますA3サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおり、農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画については、農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の要件を満たしていると考えます。

以上でございます。

議長 それでは、審議をお願いします。

(発言等なし)

議長 別になければ、採決いたします。議案第9号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定、申請番号1番については原案どおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

議長 はい、全員賛成です。よって、議案第9号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定、申請番号1番については原案どおり決定いたしました。

議案第9号、申請番号1番の審議が終了しましたので、〇〇〇〇委員を呼んできてください

(〇〇〇〇委員着席)

続きまして、議案第9号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定、申請番号2番から11番についてを議題とし、事務局が説明をいたします。

事務局(長野) 議案第9号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定、申請番号2番から11番について説明いたします。議案書は23ページになります。

まず、申請番号2番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおりで、

申請地も記載どおり僧津の農地1筆で、地目は田で、面積は2,309㎡です。ナスを作付する予定をしており、約2年間の賃貸借契約をし、賃借料は全部で450,000円の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、26ページの右に地図がございます。高知県農協あき北支所の西の方にある農地です。

農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の判断につきましては、事前にお配りしておりますA3サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

次に、申請番号3番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおりで、申請地も記載どおり僧津の農地1筆で、地目は田で、面積は2,227㎡です。ナスを作付する予定をしており、約2年間の賃貸借契約をし、賃借料は全部で450,000円の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、26ページの右に地図がございます。高知県農協あき北支所の北にある農地です。

農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の判断につきましては、事前にお配りしておりますA3サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

次に、申請番号4番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおりで、申請地も記載どおり僧津の農地1筆で、地目は田で、面積は2,383㎡です。ナスを作付する予定をしており、約2年間の賃貸借契約をし、賃借料は全部で450,000円の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、26ページの右に地図がございます。高知県農協あき北支所の北にある農地です。

農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の判断につきましては、事前にお配りしておりますA3サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

次に、申請番号5番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおりで、申請地も記載どおり伊尾木の農地4筆で、地目は田で、面積は全部で1,618㎡です。ナスを作付しており、3年間の賃貸借契約をし、賃借料は10a当たり2等米6俵代の条件で更新する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、27ページの左に地図がございます。伊尾木の日産サティオ高知安芸店の南の方にある農地です。

農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の判断につきましては、事前にお配りしておりますA3サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

次に、申請番号6番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおりで、

申請地も記載どおり穴内甲の農地1筆で、地目は田で、面積は645㎡です。ナスを作付しており、1年間の賃貸借契約をし、賃借料は10a当たり2等米7俵代の条件で更新する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、27ページの右に地図がございます。穴内六丁集落に隣接している農地です。

農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の判断につきましては、事前にお配りしていますA3サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

次に、申請番号7番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおりで、申請地も記載どおり赤野甲の農地3筆で、地目は田で、面積は全部で2,211㎡です。ナスを作付する予定をしており、15年間の賃貸借契約をし、賃借料は10a当たり2等米6俵代の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、28ページの左に地図がございます。赤野の特別養護老人ホーム八流荘の東の方にある赤野八流地区ほ場整備区域内にある農地です。

農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の判断につきましては、事前にお配りしていますA3サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

次に、申請番号8番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおりで、申請地も記載どおり赤野乙の農地2筆で、地目は田で、面積は全部で934㎡です。ナスを作付する予定をしており、5年間の賃貸借契約をし、賃借料は10a当たり2等米6俵代の条件で新規設定する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、28ページの右に地図がございます。土佐くろしお鉄道赤野駅の真北にある農地です。

農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の判断につきましては、事前にお配りしていますA3サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

次に、申請番号9番です。貸付人、借受人は議案書に記載どおりで、申請地も記載どおり西浜の農地1筆で、地目は田で、面積は1,142㎡です。ナスを作付しており、3年間の賃貸借契約をし、賃借料は10a当たり2等米7俵代の条件で更新する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、29ページに地図がございます。安芸市防災センターの南西にある農地です。

農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の判断につきましては、事前にお配りしていますA3サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

次の申請番号10番と11番は所有権移転売買の計画となっております。

まず、申請番号10番です。譲渡人、譲受人は議案書に記載どおりで、申請地も記載どおり土居の農地1筆で、地目は田で、面積は1,201㎡です。水稻を作付する予定をしており、2,500,000円で所有権移転売買する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、30ページの左に地図がございます。高知県農協安芸集出荷場の東の方にある農地です。

農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の判断につきましては、事前にお配りしていますA3サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

なお、現地につきましては7月13日に福本隆憲委員、森澤和義前委員に確認していただきました。

次に、申請番号11番です。譲渡人、譲受人は議案書に記載どおりで、申請地も記載どおり川北乙の農地2筆で、地目は田で、面積は全部で1,999㎡です。ユズを作付する予定をしており、1,900,000円で所有権移転売買する計画です。

現地の写真をお配りしますので、ご確認ください。

所在地につきましては、30ページの右に地図がございます。江川内原野の弁天池の南西の方にある農地です。

農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の判断につきましては、事前にお配りしていますA3サイズの農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画の調査書に記載してあるとおりです。

なお、現地につきましては7月14日に樋口なぎさ委員、中平秀一委員に確認していただきました。

以上、農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画調査書に記載してあるとおり、農業経営基盤強化促進法に係る農用地利用集積計画については、農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の要件を満たしていると考えます。

以上でございます。

議長 現地確認委員の報告を、申請番号10番は福本隆憲委員、申請番号11番は樋口なぎさ委員、お願いします。

10番福本委員 7月13日に長野君と森澤和義前委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

7番樋口委員 7月14日に長野さんと中平秀一委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

議長 それでは、審議をお願いします。

(発言等なし)

議長 別になければ、採決いたします。議案第9号、農業経営基盤強化促

進法農用地利用集積計画決定、申請番号２番から１１番については原案どおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

議長 はい、全員賛成です。よって、議案第９号、農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画決定、申請番号２番から１１番については原案どおり決定いたしました。

続きまして、議案１０号、農地の転用事実に関する照会についてを議題とし、事務局が説明いたします。

事務局（岡田） 議案第１０号、農地の転用事実に関する照会について説明いたします。議案書は３１ページをご覧ください。

本案件は法務局が登記地目を認定するために令和２年６月１８日付（日記第５４号）により転用の事実等を本市農業委員会に照会してきたもので、農地所有者、対象地は記載のとおりです。現地の写真をお配りいたしますので、ご確認ください。なお、令和２年７月１４日に大久保暢夫委員、面岡大作委員、小松昌平委員に現地確認していただきました。現地につきましては井ノ口の駐在所に隣接している土地です。写真を見ていただいたら分かりますが、建設業者の事務所等の敷地となっている状態で、北の部分が一部農地として耕作されている状態です。現地は大部分が宅地で、一部が農地である状態です。

以上で説明を終わります。

議長 現地確認委員の報告を大久保暢夫委員、面岡大作委員、お願いします。

３番大久保委員 ７月１４日に岡田君と面岡大作委員と小松昌平委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

１１番面岡委員 ７月１４日に岡田君と大久保暢夫委員と小松昌平委員と確認してきました。説明どおり間違いありません。

議長 それでは、審議をお願いします。

(発言等なし)

議長 他になければ採決をいたします。議案第１０号、農地の転用事実に関する照会については、原案どおり決定することに賛成の委員の挙手を求めます。

(全員挙手)

議長 はい、全員賛成です。よって、議案第１０号、農地の転用事実に関する照会については原案どおり決定いたしました。

続きまして、報告第１１号、安芸市防災協力農地の登録について、事務局が説明をいたします。

事務局（長野） 議案書３３ページになります。

報告第１１号、安芸市防災協力農地の登録についてですが、これは、安芸市で災害が発生した時に避難場所、仮設住宅建設用地、災害復旧用資材置場として使える農地を事前に登録する制度です。今回は１件

申し込みがあり、登録されております。

登録地は、記載のとおり赤野乙の3筆で、面積は全部で1,086㎡です。

所在地につきましては、次のページに記載しておりますが、赤野叶岡集落の南に隣接している農地です。現地の写真もお配りしますのご確認ください。当然のことながら、防災協力農地として登録するだけで、転用等を行うわけではなく、今後とも農地法の元、適切に管理していく必要があります。

以上でございます。

議長 ただいまの報告第11号について、質問、意見等がございましたらお願いします。

議長 他に質問、意見等がないようでしたら、これは、報告案件ですので、了解していただきたいと思います。

以上で、議案審議は終了いたしました。

それでは、その他の件について、事務局から説明いたします。

事務局（長野） 来月の定例会は8月25日の火曜日の午後1時30分より行いますので、出席をお願いします。

本日、定例会終了後、農業会議の田中さんを講師に、研修会を実施しますので、引き続き参加をお願いします。全員研修会を8月19日に田野町で別紙案内文書の内容どおり実施します。出欠の報告をお願いします。来年、県外視察を実施します。全国担い手サミットは来年に延期になりました。

事務局（岡田） 農地利用状況調査について、お配りしている資料を元に8、9月に確認をしていただきますのでよろしく願いいたします。

（資料に基づいて説明する。）

農業委員会活動記録簿の用紙をお配りしております。毎月、この記録簿の提出をお願いします。

議長 以上で本日の定例会日程はすべて終了しました。